

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

## ライトニング FAX バージョン 6.00 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「ライトニング FAX」(Ver. 6.00-00→Ver. 6.00-01)において、  
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

### [強化項目]

以下の機能を強化しました。

#### [API 機能関連]

- ◎ライトニング FAX API フィードバックで、PDF ファイルを、あらかじめ定義した条件にもとづいて、指定のフォルダ、ファイル名で振り分けて出力できるようにしました。条件、フォルダ名、ファイル名には FAX アイテムの情報が利用できます。
- ◎ライトニング FAX API フィードバックの CSV ファイル出力機能で、ファイル名の命名規則に「csv」の拡張子を指定した場合の動作を以下のように変更しました。  
＜変更前＞イメージファイルのみ出力し、CSV ファイルは出力しない。  
＜変更後＞CSV ファイルのみ出力し、イメージファイルは出力しない。

### [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

#### [ドライバ機能関連]

- ・ Dialogic 社製 TR1034 ボードを使用している場合、FAX 送受信で、「12006」「12007」「12031」などのエラーが発生しているにもかかわらず、本来のエラーコードではなく、「12049」のエラーコードになることがある。
- ・ NTTデータ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、以下の状態でサーバの CPU 使用率が上がる。
  - ・ VOISTAGE マルチメディアボックスの電源が入っていない、またはサーバに USB 接続していない状態で、VOISTAGE Core Service サービスを起動する。
  - ・ VOISTAGE Core Service サービスの稼動中に、VOISTAGE マルチメディアボックスの電源が入っていない、またはサーバに USB 接続していない状態となる。
- ・ NTTデータ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、マルチメディアボックス基本ソフトウェアを、バージョン移行ツールを使用して Ver. 8 から Ver. 9 へバージョンアップした後、バックアップしたファイルで Ver. 8 に戻すと、VOISTAGE のバージョン情報に「Version 9. x. x. x」と表示される。

- ・NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスの通信デバイス「VS-421MB」を使用している場合、以下の問題点がある。
  - ・FAX 送信で、相手先 FAX 機の性能によっては送信が失敗することがある。(エラーコード：40055)
  - ・有音検出を設定しても有音検出ができず、ダイヤルに失敗することがある。(エラーコード：42003)
  - ・FAX 受信時に ECM (誤り訂正モード) が有効にならず、受信 FAX イメージが正しく生成されないことがある。
  - ・相手先 FAX 機と通信中のエラーでリトライが正しく行われず、FAX 送受信に失敗することがある。(エラーコード：40017、40081)
  - ・FAX 送信時、送信は成功しているにもかかわらず、結果が認識できずにステータスが「送信失敗」になることがある。(エラーコード：40002)
  - ・電話機から着信した場合、相手先が切断した後も受信中のままとなり、回線が開放されないことがある。

#### [クライアント機能関連]

- ・ライトニング FAX ビューワで、複数ページのアイテムを開き、1 つ以上のアノテーションを付加して全ページを表示せずに[FAX 送信]または[FAX 返信]を実行すると、以下の結果となることがある。
  - ・表示されていないページが上半分に縮小される。
  - ・表示されていないページの用紙サイズが変わる。
- ・コマンドラインからのライトニング FAX 電話帳へのインポートで、グループ情報の指定がある標準形式電話帳インポートファイルを使用してインポートを実行すると、以下のエラーメッセージが表示されてインポートできなくなることがある。
 

ERROR: 電話帳ファイルへのグループ[XXXX]の追加に失敗しました。<CDaoTableDef::CreateField(): 定義されているフィールドが多すぎます。>

#### [受信 FAX 効率化機能関連]

- ・ライトニング FAX ビューワ内でのワンタッチ操作で、複数ページのアイテムを開き、1 つ以上のアノテーションを付加して全ページを表示せずに機能キー「表示中のアイテムを TIFF ファイルとして出力」を実行すると、以下の結果となることがある。
  - ・表示されていないページが上半分に縮小される。
  - ・表示されていないページの用紙サイズが変わる。

#### [API 機能関連]

- ・API コマンドファイルで@CONVERSION\_FILEに PDF ファイルを含む複数の異なる形式のファイルを指定して、@CONVERSION\_MODE で 2 ファイル目以降の変換方法に「PDF\_TO\_TIF」を指定するとエラー識別値番号 015 のエラーとなる。

#### [マニュアル関連]

- ・『ライトニング FAX セットアップガイド』の「MFP 送信/受信連携機能をインストールする」の「MFP 連携機能の利用設定」で、MFP の送信履歴の文字化けを回避するための FAX ドライバの設定値について説明がない。また、以下の誤りがある。
  - <誤> [デバイスの設定] タブの [部門別 ID 管理機能を使う] のチェックを OFF にする。
  - <正> [デバイスの設定] タブの [ユーザー管理機能] は [使わない] を選択する。
- ・『ライトニング FAX ユーザーズマニュアル オプション編』の「ライトニング FAX API モジュール」で、「API コマンド項目一覧」の「@STANDBY」の注釈に以下の誤りがある。
  - <誤> @TIME、@DATE コマンドが同時に設定されている場合、必ず「保留」ステータス (時計マーク) で登録されます。
  - <正> (@STANDBY が YES であれば「スタンバイ」ステータスで登録されるため、記述を削除。)
- ・『ライトニング FAX ユーザーズマニュアル オプション編』の「付加情報」の「PDF ファイル対応について」に、変換モード共通の注意事項として「PDF エディタのツール機能により付加した注釈 (線や図形等) については、変換後のイメージに反映されない場合がある」ことが記載されていない。
- ・アパール長崎社製 CT Network BOX をセグメントを越えて利用するための設定方法が公開されていない。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32ビット	64ビット
VMware ESXi 5.0	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
Windows Server 2008 R2 SP1 Hyper-V	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Vista Business Edition SP2	○	—
	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	○	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

### 注意事項

- ・次の環境では、MFP 連携ドライバについても動作を確認しています。  
Windows Server 2012 R2 Hyper-V のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard」
- ・次の環境では、アパール長崎社製 CT Network BOX 用の Lfdriver についても動作を確認しています。  
VMware ESXi 5.0 のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1」
- ・ゲスト OS がクライアント OS の場合、ライトニング FAX のクライアント環境として動作を確認しています。

#### <前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は、弊社では対応できません。それぞれのメーカー様、ベンダー様までお問い合わせください。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。